

For you

令和4年9月2日(金)
1組担任 小田 洋子
2組担任 渡邊 慎一

本日は、ご多用の中保護者会にご参加いただきまして、ありがとうございます。
1学期の振り返りと今後の見通し、指導方針についてお話をさせていただきます。

*参加できなかった方のために文章で丁寧に説明をしています。そのため文字数が多くなってしまい申し訳ございません。内容はどれも**非常に重要**です。*

◎1学期の学習

- 学習への取り組みと意欲・・・漢字の定着力と算数の基礎計算力が特に**二極化**している。
前学年までの学習内容が定着しているか否かで、現在の学習の理解力に大きな差が生まれている。
- 個人差（家庭での復習）・・・差が非常に激しく、学力が**二極化**している。
 - 丁寧に以前の学年のドリルを行ったり、毎日こつこつ日記をつけたりしている児童が力をつけている◎。
 - 家庭学習が全くできなかつたり、漢字練習などを乱雑に行ったりする傾向のある児童は伸び悩んでいる。



1学期にも行った、毎日の家庭学習のメニューとやりかたの説明を再度行います。伸び悩みが見られる児童へは、特に**徹底して家庭学習**に取り組ませたいです。ご家庭での協力をお願いします。

◎1学期の生活

- 高学年として・・・当番、係活動について、非常によくがんばった。高学年の一員としての自覚が芽生え始めている児童が出てきた。
- 学級・・・各々が課題をもち、クラスとして一つのことに取り組もうとする子が増えた。
- 当番・・・給食当番は**ほぼ全員が自立**して行うことができるようになった。掃除は、本当は無い習い事があるという理由を作って帰ろうとする児童が見られるなど、掃除当番内でのトラブルが複数見られた。
- 言葉遣い・・・概ね正しい言葉遣いで話すことができている。叱嗟に出る言葉遣いの乱れに関して、その都度その場で指導をしている（友達に対しての傷つく言葉が多い）。**教員や大人にバレなければよい**という安易な気持ちで「死ね・うざい・きもい」を使っていて、厳しく指導した事例が1学期に複数あった。
- 団結力・・・どの人にも得意分野と不得意分野があり、互いに補い合わなければ集団生活は成立しないが、1学期の時点ではまだ「**集団**」ではなく「**個の集まり**」という印象が強い。**他人の気持ちを想像する力が弱いことが課題**と思われる。互いに譲り合うことができず、トラブルになるケースが多々あった。

◎2学期に身に付ける必要がある力

学習面・・・1、2、3、4年1学期までの学習内容は必ず身に付けておく

国語	日常的に文章を書き、 既習漢字 を普段から使えるようにする。 (家庭学習で行っている日記が、この目標を達成できない内容であればやり直しをさせてください)
	語彙力 を増やすために、わからない言葉に出会ったらすぐ辞書をひく習慣をつける。
	自分の気持ちを「やばい」「すごい」「エグい」以外の言葉でも表現 できるようになる。
	読んだことを 短い言葉でまとめる ことができるようになる。
	〔家庭〕ニュースや映画、本などの 感想や意見を家族で交換する場が日常的に無い場合は設定 する。 (大人がもつ幅広いに語彙に子供が触れ、新しく覚えた言葉を子供が使える場が必要)
2学期	① 毎週の朝学習で漢字十問テスト(間違えたものはその日の宿題に追加する)
	② 一ヶ月に一度漢字五十問テスト(合格点は96点以上。合格するまで何度でも再テスト) ※最終下校時刻までは居残りを認めます。最終下校時刻を超えた居残りをして再テストを行うことはできません。

算数	くり上がりのあるたし算、くり下がりのあるひき算、かけ算九九が全てできる。
	かけ算の筆算・わり算の筆算を正確に行うことができる。
	コンパス・分度器・定規が正しく使える。
2学期	① 毎週の朝学習で基礎計算プリント (時間切れ、又は一つでも間違えたらプリント一枚をその日の家庭学習でやり直し)
	② 理解度に応じて、個別に東京ベーシックドリルの 課題プリント を宿題に追加する ※躓きが大きい子ほど「ドリルパークでやったから計算ドリルはやらなくていい」といったように、タブレットのコンテンツに偏っていく傾向があります。しかし、実際のテストは筆記であるため、タブレットではできてもテストではできないということになりがちです。 ※東京ベーシックドリルプリントは南校舎と北校舎の渡り廊下のところにあります。誰でもいつでも持ち帰って復習に利用することが可能です。

理科	【動機】【予想】【準備】【実験・観測】【結果】【考察】 の手順を理解する
	結果から考察する際に、 文章で表現 できるようになる。
	多角的な視点で結果を分析できるようになる。
	※この3点は 5年生の一学期の一番最初の単元(あと約半年後) から求められます。

社会	都道府県名を47個全て漢字で書くことができ、場所がわかる
	棒グラフや折れ線グラフの資料から情報を読み取り、わかったことを 文章で表現 できるようになる
	説明する際に効果的な資料を自分で選ぶことができる
	まとめ新聞やスライド作成の際、 見る側が理解しやすいように工夫 することができる
	※「 字が雑である(国語の内容) 」「 グラフがわからない(3~4年一学期算数の内容) 」といった、既習内容に躓きがある場合は、こうして他教科の内容にも影響してきます。今までに学習した内容に不安があれば必ず4年生の2学期中に克服しておくことを 強くお勧め します。

外国語活動	アルファベットが書ける
	ローマ字がしっかりと分かり、使うことができる
	外国語を使って積極的にコミュニケーションをとる
	※5年生から「外国語活動(教科外)」から「外国語(教科)」になります。教科になるため、「 テストと評価 」が発生します。具体的なテストのサンプルは画面越しにご確認ください。 ※参加が難しかった方は個人面談の際などにお声掛けください。

体育	着替えと移動を素早く 行い、授業に遅れないようにする(体育の授業・体育の直後の授業共通) (自分たちで自覚して行う)
	勝ち負けでけんかをしたり、苦手な子が傷つくような発言や行動をしたりしない。 (これは1年生で学ぶ内容と全く同じなのですが)
	準備と片付けに積極的に参加する
	練習・集合・片付け・反省会などの 切り替えを素早く 行う
	※ 体育は生活面の力と密接に関係 しています。協調性をもって行わなければ授業自体が成立しません。2学期中に、体育が45分しっかりできるようになる必要があります。

道徳	「以前の自分と比べて～」「これからこうしたいと～」といった、 振り返りや比較、見通し などを言葉や文にすることができる。
	平和、愛情、思いやりなどの内容項目を理解し、社会生活を送るうえで望ましい人格を形成する
	物事や人物の気持ちなどを 多角的に分析 したり、 因果関係 を考えたりすることができる
	※道徳の教科書を一緒に読んで親子で意見交換をするのも効果的です。その際、一つの価値観から譲らないような話し方をお互いがしないことが重要です。道徳は一方的に一つの観念に縛り付けるのではなく、 話を全て受容しながら段々と気付かせたい価値観に近づけるように話していくと最も効果があがります。

生活面	★(最重要) 自分たちで 考えて行動する力
	★(最重要) どの人も平和に気持ちよく暮らせるように 気遣い をする力
	提出物 は必ず自分の責任で出す
	礼儀 と挨拶、返事がしっかりできる
	廊下の歩き方、掃除の質を、 下級生が真似しても良いレベル に高める

◎学校の目標

○自らをみがき 学び合う子 ○思いやりがあり 助け合う子 ○心と体をきたえ やりぬく子

◎学年の方針

- ・自立に向けて、基本的な生活習慣の確立を図るとともに、**自分で判断し行動する**態度を育てる。
- ・互いに**協力**しながら、自分もみんなも大切にしようとする態度を育てる。
- ・高学年であるという自覚をもち、何事も意欲的に取り組む態度を育てる。

◎お願い

- (1) 遅刻・欠席の連絡は朝8時30までにお願いします。
- (2) 体育見学の連絡は必ず連絡帳でお願いします。
- (3) 規則正しい生活リズムを確立させてください。(早寝・早起き・朝ご飯)
- (4) 学校で学習した内容が定着するには家庭学習が不可欠です。時間や環境の設定にご協力ください。

宿題について

★**自分手帳**を活用して取り組める児童が増えてきた。単元テストや診断テスト、漢字テストに向けて計画を立てて取り組んでいる。

★「勉強したの?」という声かけでやらせるのではなく、目標に対してどんな方法でどれくらい勉強したかを報告(または記録)させてください。テストなどの到達度を測る機会があった際は、「この結果になったのはどのようなアプローチをしたからか」を話させます。与えられたものを何も考えずに作業のように行う宿題は、一見勉強をしているようで長期的に見ると成果はほとんどあがりません。

★**家庭学習は「量」より「質」**です。「毎日2時間勉強する」といった目標ではなく、「**通常12分かかるドリルのページを、6分で100点がとれるまで繰り返す。チャンスは3回まで。**」といった、**時間制限と緊張感**のある学習を行うことで集中することができます。

※どれだけ頑張っても2時間は拘束されるという条件では、たとえ2時間椅子に座っていたとしても学習効果は高まりませんし、**自分で工夫したり効率よく進めたりしようという動機**がなかなか生まれません。「1学期までは1ページに20分かかっていた新出漢字を今日は1ページ10分、日記は今まで30分かかっていたけど今日は制限時間5分。雑だと家の人に判断されたら最初からやり直し。早く終われば、あとは自由時間にしてOK。よい、スタート。」こちらの方が、「工夫して、丁寧に、速くやるにはどうしたらよいだろうか」と、しっかり**思考する家庭学習**ができます。

持ち物について

学習に必要なものは、絶対に持たせないでください。

一学期はシャープペンシル、ラメ付きマーカー、玩具、あめ、ガムなど、持ってきてはいけないきまりにしている持ち物がいくつか学校で見られ、持って来た子に指導しました。

シャープペンシルは鉛筆とは異なり寝かせて書くと簡単に芯が折れてしまいます。例えば「大」という漢字を見た時に、二画目は左斜め下に向かって段々細くなり、三画目は右斜め下に向かった後、右に向けて細くなっていきます。字形を捉えてははっきりと書くには、ノートに対して鉛筆を立てるのではなくある程度寝かせる必要があります。しかし、シャープペンシルでそれを行うと芯が折れてしまうため、ノートに対して垂直に近い角度で保持するか、微妙な力加減をして寝かせなくてはなりません。結果的に、いつも垂直に持ったり、弱い力加減を行ったりする癖がつくと正しい字を覚える機会が失われかねません。**中には、器用にシャープペンシルを扱うことができる子もいるでしょう。**しかし、子供は自分の書字能力を的確に判断することが難しい傾向にあるため、「〇〇さんも持ってきているから」という理由で、**本当は鉛筆で書くべき段階の子供が真似をしてその機会を失う**ことが簡単に予想されます。**上級生が持ってきていれば、下級生は必ず真似**をします。こういった理由で本校はシャープペンシルの校内での使用を控えるよう指導しています。

ペンケースの形を指定していることにも理由があります。袋や缶のタイプ、ぬいぐるみの背中にしまうタイプなど様々なものがありますが、缶のタイプは落下した時に非常に大きな音が出ること、袋状・ぬいぐるみやアクセサリがついたものは、授業の集中の妨げになることから禁止しています。持ってきている**本人は良くて、その周りの子や下級生が集中を維持できるとは限りません**。きまりは作っていませんが、下敷きやノートなどもアイドルやアニメキャラクターのものを持ってきて落ち着きがなくなっている場合にはシンプルなものを勧めるケースもあります。授業が進まなくなったり質が下がったりする可能性があるものはできるだけ校内に持って来させたくないと考えています。また、うらやむ気持ちから物隠しなどのトラブルに発展することも小学生の段階では非常に多く、**学業を進めるうえでメリットはほぼありません**。

◎**主な学校行事について**(※たてわり活動は状況に応じて実施していきます)

9月1日	始業式
2日	保護者会 14:20～
5日	給食始まり
7日	身体計測
10日	土曜授業日(公開)(3時間授業給食なし) 区一斉防災訓練(引き渡し訓練は中止)
20日	プール納め朝会 体力向上旬間(北西ギネス)始まり
27日	ユニセフ募金始まり

10月3日	読書月間始まり
8日	土曜授業日(公開)(4時間授業・給食なし)
11日	体力向上旬間(北西ギネス)終わり
13日	咀嚼く指導
14日	3・4年ペア学年交流会①
21日	3・4年ペア学年交流会②

11月4日	読書月間終わり
12日	土曜授業日(4時間授業・給食なし) 公開日： <u>4年学習発表会</u>
14日	個人面談①
15日	個人面談②
16日	個人面談③
21日	個人面談④
22日	個人面談⑤
24日	感謝の気持ちを伝える会
25日	体力向上旬間(持久走)始まり

12月10日	土曜授業日(4時間授業・給食なし)
12日	社会科見学
13日	持久走大会
20日	冬の診断テスト
22日	給食終わり
23日	終業式

1月10日	始業式 休み明けテスト
11日	給食始まり
14日	土曜授業日(4時間授業・給食なし) 公開日： <u>自分史発表会(仮)</u> <u>道徳授業地区公開講座</u>
16日	身体計測
27日	体力向上旬間(長短縄)始まり

2月10日	体力向上旬間(長短縄)終わり ※2月は学校公開がありません
3月1日	保護者会 14:30～
3日	6年生を送る会
22日	給食終わり 4時間授業
23日	修了式

◎その他 諸連絡

○個人面談・・・11月14日～22日の予定です。およそ一か月前に日時の希望調査を行います。

○学習発表会・・・感染対策のため昨年の音楽会と同じように、体育館を横向きに使って実施することを検討しています。衣装や小物等の支出が発生しない内容で行う予定です。現時点では、各家庭2名まで参観できるように会場のレイアウトを考えています。

○診断テストの結果と活用方法・・・

夏休み前のテストと休み明けのテストで問題を変更したのは各教科5問だけ(各教科75点分は夏休み前と全く同じ問題)です。300点分(75点×4教科)は復習すればとることができるはずですが、失点している箇所はお子さんだけでなく保護者の方も一緒にご確認いただき、「何年生の何の部分か定着していないのか」を把握してください。4年生2学期の毎日の宿題に追加して、未定着な部分の補強を行う学習を家庭学習に組み込んでいく必要があります。

※家庭学習に関するご相談は担任までどうぞ！

○安全について・・・

成長と共に、子供は行動範囲を広げたいと考えるようになります。しかし、小学生の子供が交通事故や犯罪に巻き込まれるケースは後を絶ちません。

- ・子供たちだけで約束をしてイオンに買い物に行った
- ・子供たちだけでコンビニエンスストアのイトインコーナーに出入りしていた
- ・子供同士でお金のやりとり(おごる・おごられる)があった
- ・子供から子供へ金銭を要求した
- ・行き先を告げずに出かけて夜になっても帰らず、保護者や学校職員が総出で探した
- ・子供一人で何万円も持って出かけ、使った
- ・一人で自転車に乗って出かけ、車と接触した

これらの事例は1学期中に練馬区内の小学校で確認され各校で指導したものです。どの件も大きな事件に発展せずに済みましたが、一つ間違えれば取り返しのつかない事になりかねないものもあります。学校でも家庭でも、子供に「どういう危険があるからやってはいけないのか」という理由を何度も説明していきましょう。